



楽しい夏祭りに笑顔咲く

「あさがお&ほおずき市」が先月6日と7日に蕨駅東口一番街で開催。涼しげな花々が訪れる人たちの目を楽しませていました。

蕨市平和都市宣言

昭和20年8月、広島、長崎に人類初の原子爆弾が投下され、早くも40年の歳月が流れました。

その間、唯一の被爆国である我が国は、恒久平和を崇高な理念として憲法に掲げ、自由と正義を愛し、世界平和に寄与してきました。

しかるに今、世界の超大国を中心とした核保有国が競って核軍備拡充を図っていることは、まことに脅威であり、この核軍拡競争に対して、世界のいたるところで、平和希求の叫びがとみに高まりつつあります。

このような国際情勢の中で、戦争は人間が起こすものであり、また人間の力によってこれを防ぐことができることをしっかりと心に刻み、平和で豊かな社会を次の世代に引き継いでいくことが、現代に生きる我々の責務であると考えます。

私たち蕨市民は、平和憲法の精神を守る立場から、非核三原則が厳守されることを強く希望し、世界のあらゆる国の核兵器の速やかな廃絶を願うものであります。

蕨市は、市民の平和を願う心を結集し、ここに「平和都市」であることを宣言いたします。

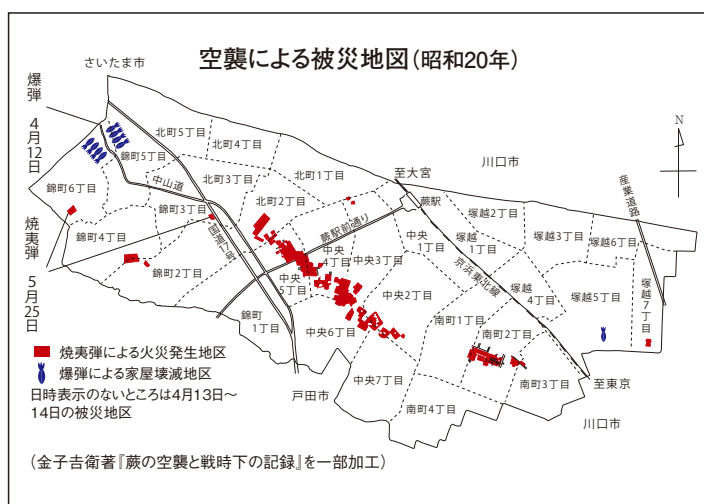
昭和60年9月9日 蕨市



平和の母子像(市民公園)

未来へつなぐ平和への思い

終戦から79年がたち、戦争を知る世代は少なくなりました。しかし、戦争の悲劇を風化させてはいけません。今月は、戦争当時を蕨で過ごした人へのインタビューを通じ、平和の尊さについて考えてみたいと思います。



代が少なくなつた今、戦争の悲惨さを語り継ぎ、風化させないことが必要です。

左では、戦時中から蕨にお住まいの岡田國夫さんのインタビューを紹介します。私たち一人ひとりが、過去に我が国で起きた戦争のことを知り、蕨市平和都市宣言(上囲み)に示した平和への願いを新たにしていきたいと思います。

軍 需工場が複数あった蕨は、昭和20年4月から5月にかけて、3回にわたって空襲に見舞われました。1回目は、4月12日の正午頃。錦町5・6丁目付近からさいたま市の辻にかけて16個の1ト爆弾が投下されました。2回目は、13日の夜から14日の朝にかけて、爆弾と焼夷弾の波状攻撃により、南町2・3丁目付近から現在の北小学校までの約1キロ、幅200メートルの広範囲が火の海と

なりました。3回目は、5月25日の午後10時頃。錦町4丁目付近の民家3戸が焼失しました。これら3度の空襲による被害は死者50人、罹災した家屋は400戸に上り、県内では熊谷に次いで2番目の被害となりました。

同年8月15日に戦争が終結してから79年がたちました。この間、日本では平和な日々が続いていますが、現在も世界各地では戦争や紛争が起きている。戦争を直接知る世



Interview

戦争の記憶

岡田 國夫さん（91歳・南町1丁目）

「当時のことを知っている人も、もう少なくなっ
てしまいましたね」と話す岡田さん。少年時代を過ごし
た戦時中の蕨のことを話していただきました。

学校生活にも戦争の影響

私は昭和8年に、当時の下
蕨、現在の南町1丁目に生ま
れました。それから91年間ず
つと南町で暮らしています。

戦時中は蕨第一国民学校
（現・北小学校）に通って
いましたが、私が高学年になる
頃には戦争が激しくなり、ま
ともに授業を受けた記憶があ
りません。食糧不足の時代だ
ったので、男子児童は現在の
市立病院の辺りにあったサツ
マイモ畑やたんぼで農作業に
従事したり、また、終戦間際

になると、空襲警報が発令さ
れることも頻繁だったので、
その度に集団下校を余儀なく
されたり、落ち着かない日々
を過ごしていました。

今も耳に残る幼い叫び声

夜は夜で、10時頃になると、
毎日のように空襲警報が発令
され、解除されるのは朝の3
時、4時。庭に2つ作った防
空壕で、家族や親戚と何度も
夜を明かしました。幸い、我
が家は空襲の被害を受けませ
んでしたが、狭い防空壕に6、
7人で肩を寄せ合い、長時間
過ごすのはとても息苦しいも
ので、私は耐えられなくなっ
て防空壕を抜け出し、近くの
畑で布団をかぶって過ごした
りもしていました。そうする
と、ときどき頭上をかすめる
ほどの低空をB29が飛んでい
くのが見え、たいへん恐ろし
い思いをしたものです。

当時、今の南町2、4丁目
にまたがる地域は三和町とい
い、軍需工場などの社宅が建
ち並ぶ、大きな住宅団地でし
た。子どものいる家が多かつ



▲戦時中の面影を残す昭和34年の三和町の町並み

たので、昭和20年4月の空襲
によってこの地域に大きな火
災が起きた時には、私より小
さな子どもたちが焼け出され、
「お父さん！お母さん！」と
親を探して泣き叫んでいる姿
を数多く目にしました。その
悲痛な声は、80年近くたった
今でも耳に残っています。

平和という幸運を未来へ

終戦から長い年月がたつて、
今では戦争を知る人も減り、
当時のことを話す機会も少な
くなりました。しかし、世界に
目を転じれば、ウクライナへ
の軍事侵攻など、いまだに戦
争はなくなっていない。戦
争で負傷した人を報道で目に

すると、戦時中のことがまぎ
まぎと思い出されます。そし
て、日本では現在まで平和が
続き、戦争を経験していない
世代が多くなっているという
ことは、あらためて本当に幸
せなことなのだと実感します。
今、ひ孫の3人がちやうど
戦争が激しかった頃の私と同
じ年頃です。未来を生きる彼
らのために、これからも平和
な日々が続いてほしいと強く
願っています。

市内の公民館などでは、
平和を願う催しを開催して
います（お知らせ版10頁）。
ぜひ、ご参加ください。



▲妻・麗子さん（写真右）とともに。2人で記憶を遡り、
戦時中のことや平和への思いを語ってくれました。

1

土のうステーションを 5か所増設し12か所に

特集

わらび

市政スポット

まちの情報を
発信します

新たに設置された南町桜並木の土のうステーション。カバーを外すと土のうが取り出せます

今月の特集・わらび市政スポットでは、市が進めている取り組みの中から、3つの事業についてお伝えします。

防

災力の向上のため、平成27年に市内7か所に

設置された土のうステーション(緊急用土のう置場)は、集中豪雨などによる浸水被害に備え、市民の皆さんが土のうで対策ができるよう設置されています。先月には、土のうの使用頻度の高い地域や浸水被害の出やすい地域に新たに各地区1か所ずつ、計5か所のステーションを増設(関連下囲み)。より多くのかたが利用しやすくなりました。各ステーションには、5袋と10袋の2種類、約120袋の土のうが用意されており、いつでも自由に持ち出しが可能です。使用する際は、土のうを1

段ずつ互い違いに並べ、足で踏みつけるなどして、隙間なく平らに積み上げます。水が入ってくる側をブルーシートで覆うと更なる効果が期待できます。なお、使用済みの土のうは原則、各家庭で保管していたいただくか、庭にまくなどの処分をお願いします。

問い合わせ 道路公園課 (☎ 433・7718)

土のうステーション一覧

- ① 錦町2丁目赤田住宅(錦町2-19-19)
- ② ちびっこ広場No.27(錦町3-4)
- ④ 北町公園(北町1-27)

- 新⑤ わらび公園(北町1-17)

- ⑥ 中の宮公園(中央4-9)
- ⑧ あけぼの公園(南町1-15)
- ⑨ はんのき公園(南町2-24)
- ⑪ 市民公園(塚越5-1)

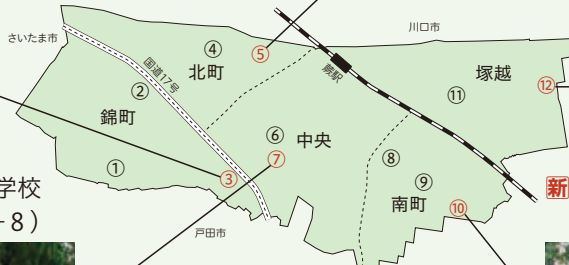
- 新③ ちびっこ広場No.23(錦町1-4)

- 新⑫ あづま公園(塚越7-15)



- 新⑦ 中央小学校(中央6-8)

- 新⑩ 南町桜並木(南町3-15)



1本250円
(税込)

市立病院建設に関する市民アンケート結果



現在の市立病院

皆 さんの声を新病院建設に生かすため、市では4月にアンケートを実施（概要下表）。その結果がまとまりましたので紹介します。

調査内容は、市立病院を含む医療機関の利用状況と、新病院に望むことなど19項目。主な結果は下表のとおりです。いつでも気軽に安心して利用できる病院が望まれているほか、設備面では、待ち時間対策や精算などの自動化、サービス面では、救急医療の充実に加え、午後診療など利用しやすいに対するニーズが高いことが分かりました。

市では今後、これらの結果を参考に、地域の安心を支える新病院の基本構想・基本計画の策定を進めていきます。

問い合わせ〓市立病院（☎432・2277）

－アンケート結果（一部抜粋）・概要－

どんな病院であってほしいか	施設、設備などで充実してほしいもの	どんな医療サービスを充実すべきか
1位 市民がいつでも気軽に安心して利用できる病院 (60.4%)	1位 診察の待ち時間などを表示する待ち時間対策システムの整備 (69.1%)	1位 救急医療 (69.1%) 2位 午後診療 (49.6%)
2位 きちんと病状の説明があり、納得のいく医療が受けられる病院 (59.0%)	2位 自動再来受付機の増設や診療代の自動精算機の整備 (42.9%)	3位 健診(人間ドック、がん検診等) (32.0%)
3位 災害時においても医療提供が停止しない病院 (46.1%)	3位 バリアフリーなど患者の安全に配慮した人に優しい施設 (33.6%)	4位 気軽に相談できる窓口機能 (31.9%)
4位 大学病院など高度な医療を提供する機関との連携がある病院 (40.9%)	4位 駐車場や駐輪場台数等の充実 (30.6%)	5位 高齢者医療・在宅医療 (31.2%)
5位 クリニックや医院と連携した地域の中心的な病院 (29.7%)	5位 病院への交通アクセスの整備 (28.2%)	

アンケート概要

調査期間：4月2日～23日
対象：18歳以上の市民2,000人(無作為抽出)
回答率：49.3%(987件)

わらびりんごサイダー販売スタート



750) 観光課（☎433・750）
お問い合わせ〓商工
お楽しみに！
インの開発を予定。
かんの販売や、ワ
新商品のわらびり
んごを使ったよう
な商品の販売や、ワ
の魅力を詰ま
ったサイダーを
賞味ください。

爽 快感抜群のわらびりんごサイダーが今年も出ました。市民の皆さんと収穫したリングで作ったご当地サイダーです。はじける炭酸と強い酸味が暑い夏にぴったりのこの1本。今月から市民体育館をはじめ、市役所1階Cafeふわりやスマイラ松原、蕨酒類商組合の皆さんの協力により、左下表の場所で販売しています。今月2日から4日に開催の機まつりでも販売予定。ぜひ、まちの魅力が詰まったサイダーをぜひ賞味ください。

販売場所	住所	電話
市民体育館	北町1-27-15	432・2611
酒と味噌 新川屋	北町2-10-7	431・2019
酒屋 なかみ勢	塚越4-2-15	441・2775
ミカワヤ	南町3-6-4	441・2724
岡田屋酒店	南町4-2-16	441・3601
ワイン&ティピエ 葡萄とくま	中央1-14-11	431・2718
Cafe ふわり	中央5-14-15	—
高沢屋酒店	中央5-16-9	431・2449
あぶらび	中央7-2-1	080・5497・8700
スマイラ松原	錦町3-3-27	444・6647

声



おおば かりん
大林 果鈴 さん
北小学校3年

みんなで飲みたい！

6月に友達とわらびりんごの収穫体験に参加しました。一生懸命採ったリングがサイダーになってうれしいです。家族や友達と飲むのが今から楽しみです。



将来を考えるきっかけに

6月25日から27日まで、東中学校のワーキングウィーク（職場体験）が実施されました。みどり保育園には3人が訪れ、水遊びや歌を歌って、園児のお世話を体験。中学生たちは3日間を通して将来について考え、少し大人に近づいたように見えました。（本記事は市役所の職場体験の生徒が取材）



まちの話題

ここでは6月下旬から7月中旬までの話題を紹介します
ビデオマークがついている話題はCATVで放映します



夏の思い出一泊キャンプ

集団生活を通して楽しく協調性を身につけることを目的に、先月6日と7日、西公民館で西小学校3年生一泊キャンプが開かれました。地域の皆さんの協力の下、参加した66人の児童は、カレー作りやテント張り、ダンスなどに挑戦。さまざまな体験を共有することで、友情を深めました。

鉄道を通じて地域の交流

「わらてつまつり2024」が、先月13日と14日にくるを主会場に開かれました。こども駅長出発式やミニ新幹線試乗会、Nゲージ展示運転会、のびる電車工作などの多彩な催しで、会場は大にぎわい。延べ1万1,000人の来場者は、鉄道の楽しいお祭りを通じて地域の触れ合いを深めていました。



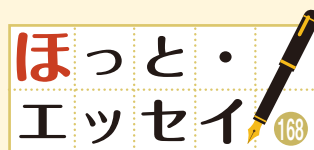
「ハローわらび」8月の番組表

市からのお知らせ・地域の話題などをお送りします

放送時間は、毎日午前9時・正午・午後3時・6時・9時からそれぞれ45分間です。

	8/2(金)～8(木)	9(金)～15(木)	16(金)～22(木)	23(金)～29(木)	30(金)～9/5(木)
00	タウンタウンワイド	市政ガイド	夏休み子ども特集②	タウンタウン	市政ガイド
	子ども作曲ワーク2024	わらび市政ほっとNews	電波宝探し&アンテナ琴工作	わらび防災大学校	わらび市政ほっとNews
05	キックボクシング エクササイズ	夏休み子ども特集①		社会を明るくする運動 蕨市推進大会	タウンタウン ヨガ&ストレッチ
10	ちびっこなつまつり	フェルトせっけん作り	けん玉体験教室	平和特集	蕨市政なう！
15	夏の交通安全運動 キャンペーン	グラスアート作り	錦町の工場見学	みんなで歌おう 平和の想い	進む！ 子育てしたいまち蕨
		子ども落語鑑賞会	造形教室	戦争を語る	
20	特集・ウィークリープラス わらてつまつり2024	特集・ウィークリープラス サマーパークフェスティバル & 青少年まつり	特集・ウィークリープラス 第72回わらび機まつり	歴史民俗資料館平和祈念展 青春の欠片～シネマと 音楽とダンスホールと～	採れたてスポット 地域の話題が 盛りだくさん
30	知って得する暮らしの情報	知って得する暮らしの情報	知って得する暮らしの情報	知って得する暮らしの情報	知って得する暮らしの情報

「ハローわらび」DVD／放送終了後から貸し出します 無料 詳細・貸し出し場所＝秘書広報課（☎433・7703）



ぜひ、ご利用ください！
ふれあい交流宿泊費助成

市長 頼高 英雄

夏休みには、大自然の中で思い切り羽を伸ばし、リフレッシュや家族の団らんをされる方も多いと思います。蔵市では、今年度から、市民の皆さんの憩いの場として、また、子ども達をはじめ市民の皆さんが豊かな自然を体験できる機会を増やせるよう、ふれあい交流協定を結ぶ群馬県片品村、栃木県大田原市と連携し、宿泊費への助成制度をスタートさせました。

市民と市長の面会日

面会日は毎月第1木曜日。今月は1日です。ただし、9月は12日です。時間は午後1時～5時を予定しています。ご希望のかたは秘書広報課（☎433・7701）へご連絡を。

群馬県片品村は、水芭蕉など美しい自然で名高い尾瀬国立公園や温泉、美味しい高原野菜などが魅力的で、栃木県大田原市は、那須与一や松尾芭蕉のゆかりの地として知られ、鮎で有名な清流・那珂川など、豊かな自然や牧場が広がり、大田原牛などのグルメや地酒が楽しめます。更に、9月からは、石和温泉など豊かな温泉や収穫量日本一の桃・ぶどうなど果物の産地で知られ、5月に災害協定を締結した山梨県笛吹市でもご利用をいただけるよう、制度を拡充することにいたしました。

1人1泊1500円、年度に2泊まで助成を受けられますので、大いにご利用いただければと思います。



みんなで踊って介護予防

高齢者が定期的に集まり、交流する機会を設けることで介護予防につなげようと、第二地域包括支援センターが月に1回開催している「つどいのば」。先月15日は下蔵公民館に14人が集まり、はっぴ姿になって参加者同士でわらび音頭などを教え合いながら、踊りと交流を楽しみました。

しゅんすけ 俊輔ちゃん（5歳3か月）

こがわ ひろゆき 博行さん
みゆき 美幸さんの 長男
南町2丁目



が家のアイドル

-628-

「探求心が強く、興味のあることに夢中になる俊輔。算数ブロックを並べて遊んでいるうちに、掛け算ができるようになり驚きました。妹の瑞穂をはじめ、小さい子の世話をするのが好きで、泣く声が聞こえると駆けつけて寄り添う姿に頼もしさを感じます。持ちまへの集中力、たくさんのことを身につけて、人を助けられる優しい子に成長してほしいです」と、父親の博行さん。



反射シール使用
事故防止

先月17日、市と包括連携協定を結ぶ明治安田生命保険相互会社から市立小・中学生のために、蔵ブランド「ぎゅうぎゅうわらび」がデザインされた交通安全反射シール4,800枚を贈呈いただきました。交通ルールの啓発と併せ、事故防止につなげていきます。



ツッコミの中野さん(左)とボケのア部さん(右)



輝いています

第二中学校出身漫才コンビ「マウンテンズ」

ひと

あべ だん
阿部 弾 さん
なか の はる
中野 陽斗 さん

機まつりで初MCに挑戦

夏

の藤の風物詩「機まつり」。今年、駅前ステ

ジでMCを務めるのは、第二中学校出身の漫才コンビ「マウンテンズ」のア部弾さん(18歳・中央4丁目)と中野陽斗さん(18歳・錦町1丁目)です。SNSなどを使い、学生ながらプロのお笑い芸人を目指して活動しています。

幼い頃から周りを笑わせることが好きだったという二人は、中学1年生のとき、学校行事で初めて漫才を披露。先生たちの特徴を捉えたネタは想像以上の大爆笑で、このときの感動が忘れられず、芸人を目指すようになりました。人見知りというボケのア部さんは、繊細な性格ゆえの観

察力を生かしたリアルな演技が持ち味。ツッコミの中野さんは生徒会長を務めるなど人望が厚く、周囲を巻き込む明るさで場を盛り上げます。

帝京高校に進んだ二人は、昨年、高校生の漫才日本一を決める「ハイスクールマンガイ」に出場。過去最多の796組が参加する中、動画審査に22本ものネタを送り、77組に絞られた準決勝へ進出。そこで敗退したものの「人を笑わせるのって楽しい。これからも笑顔届けたい」と、お笑いの道へ進む決心を固めます。現在は、腕を磨くため月3回ライブに出演。ネタの練習は毎日欠かさず、顔を覚えてもらおうと、YouTubeへの動画投稿や駅前での宣伝、市内イベントでギリライブを行うなど、地道な努力を重ねています。そんな二人の姿と、世代を問わず楽しめる芸風が、機まつり実行委員の目に留まり、駅前ステージのMC抜擢につながりました。「全力で盛り上げます」と意気込む二人の夢は、高校の先輩「とんねるず」を超えること。「マウンテンズ」が織りなす若さあふれる初MCのステージを、ぜひ見に来てください。

今月の河鍋晩斎記念美術館

天才絵師の作品
蕨にあり

—No.99—



本作品は現在の展覧会で御覧いただけます

晩斎、柴田是真合筆
「鯉の滝登り」
明治19年(1886)頃
紙本墨画 軸装

本図は晩斎数え56歳の年、当時絵師・漆芸家として高名だった柴田是真、79歳との合筆作品です。中央の鯉を晩斎が描き、周囲の滝を是真が描いています。中国・崑崙山脈を水源とする川の最終地、「龍門」という急流を登りきった鯉は龍になって天に登るという伝説は、狭き門を突破することを意味することわざ「登龍門」の語源にもなりました。本図はその「龍門鯉」を描いたもので、清冽な水の流れの中を迷いなくさかのぼる鯉の姿が涼を誘う逸品です。

河鍋晩斎記念美術館 開催中(25日まで)

企画展「晩斎・晩翠 いきもの美術館」展
同時開催 特別展「第38回かえる展」

開館=午前10時~午後4時
休館=火・木曜日、26日~末日
ところ=南町4-36-4
入館料=一般600円 高校生・大学生500円
小・中学生300円 65歳以上500円

※65歳以上の人は年齢の分かる物、学生は学生証をご提示ください

詳細=同館 ☎441・9780



現在の茨城県古河市に生まれる。浮世絵や狩野派を学び、江戸・東京の庶民から人気を博す。明治9年、万国博覧会に肉筆画を出品。14年、内国勲業博覧会で日本画の最高賞受賞。娘の晩翠も日本画家。



かわなべ きょうさい
河鍋 晩斎
天保2年(1831)
~明治22年(1889)